

争議團トシテ本部ニ集合スル者ハ被解雇職工十二名ノ
ミニシテ外ニ組合幹部 寺西三郎 一 忽那光ノ二名常時未
後一般就業職工ノ正午休憩時間及出勤退場時ニ工場
門前附近ヨリ徘徊勤務ヲ計リツマアルモ更ニ及響ナク對策
ニ腐心シ居ル状況ニテ特異ノ行動ナクハ昨一日ハ日本紙業會
社 争議ニ應援シ 争議團本部ニハ出入者ナシ

ニ 會社側ノ對策

會社ニ於テハ専ラ一般従業員ノ勤務防止ニ努メ秀英
労働組合、台啓會幹部等ト時々會見懇摺盲點セサ
ル様論示スル処アリ又今回ノ解雇問題ニ對シテハ組合側ヨリ
如何ナル要求アルトモ絶對之レヲ拒絶スル方針ニテ此ノ概ニ
察シ出版労働組合ノ勢力ヲ一掃セントスル意圖ニアルモノ、

也シ

三 出版労働組合員ノ行動

十二名ノ解雇者ヲ出シタル後ノ出版労働組合員約一二
〇名ハ他ノ動機ナキ爲メ依然就業ヲ続ケ居レルヲ被解
雇職工等ハ頻リニ之レ等就業組合員ヲ使役シ一般ノ勤
務ヲ計ラントスルモ十二名ノ解雇ニ依リ殆ト其ノ首魁ヲ
失ヒ何等積極的行動ニ出ルモノ無ク本争議ハ之レ以上拡大
不可能ノ状況ニアリ尚就業組合員等ハ被解雇者ニ
對スル同情的意味ヲ以テ各一因宛疎出シ客月三十日之レヲ
争議團ニ送レリ

四 傷害事件不起部

既報争議團員伊藤桂之助、寺島泰治ノ兩名ヲ秀